

## つきたい力

- 授業でICTを円滑に活用するための基礎的な力
- 自分で学習形態・学習方法を主体的に選び、課題解決する力
- 端末を効果的に活用して、自分の考えや根拠を示しながら、相手にわかりやすく説明する力

## 取組みの概要・ポイント

- すべての先生がICT機器を活用した授業づくりに関わられるように、校内研究にタブレット活用を取り入れた。
- 東小学校の子どもたちみんなが「正しく」「うまく」「効果的に」タブレットを活用できるように、デジタルシティズンシップに則った、主体的なルール作りを行った。

## 具体的な取組みの内容

### 校内研究テーマ「自分に合った方法で学ぼう～問い続け、共に学ぶ～」

#### タブレットの 効果的な活用

#### デジタルシティズンシップ 児童主体のルール作り

6年生 総合的な学習の時間  
情報モラル・ルールについて  
「うまく」「正しく」「効果的に」  
タブレットを活用しよう



内容だけでなく、学習方法を意識させる。つまり、**学び方を教える**  
 学習形態…一人、ペア、グループなど  
 学習方法…インターネット、図書、インタビューなど

**個別最適な学び**  
自分で決める、自分で学ぶ  
**協働的な学び**  
友だちの学習過程を参考に学ぶ

課題に対して  
どの学び方が有効か  
子どもに選択させる



#### 5年生 国語 実践例 東京書籍「環境問題について報告しよう」

- ①単元のゴールを確認する
- ②一緒に学習する形態で着席する（②一人、③ペア、④3人グループ）
- ⑤インターネットで調べるか、図書を利用するか、併用も含めて、自分で決める（⑤たくさんの図書）
- ⑥情報カードに、調べたこと・書名（資料名）・著者・発行者・発行年月日・ページを記録する。  
（情報カード記入例をテレビに写す⑥・プリント⑦・タブレットGoogleドキュメント⑧）

学校公開  
実践報告資料



## 取組みを通しての子どもの変容

子どもたちが、これからの予測できない社会に対応できるように、自律的に探究する態度の育成を図っている。初めは与えられたタブレットに、やる気や興奮を覚えた子どもたちだったが、どのように扱うべきか考える機会を与えたことで、タブレットが学習のための道具に変わり始めた。学び(単元)のゴールを示すことで、子どもたちに自分の学習ベースを選択させることができた。単元の目標や発達段階、実態に合わせながら、情報収集、整理・分析、アウトプットの方法など、学習の主導権を子どもたちに委ねていくことで、今日も教室は熱気にあふれている。